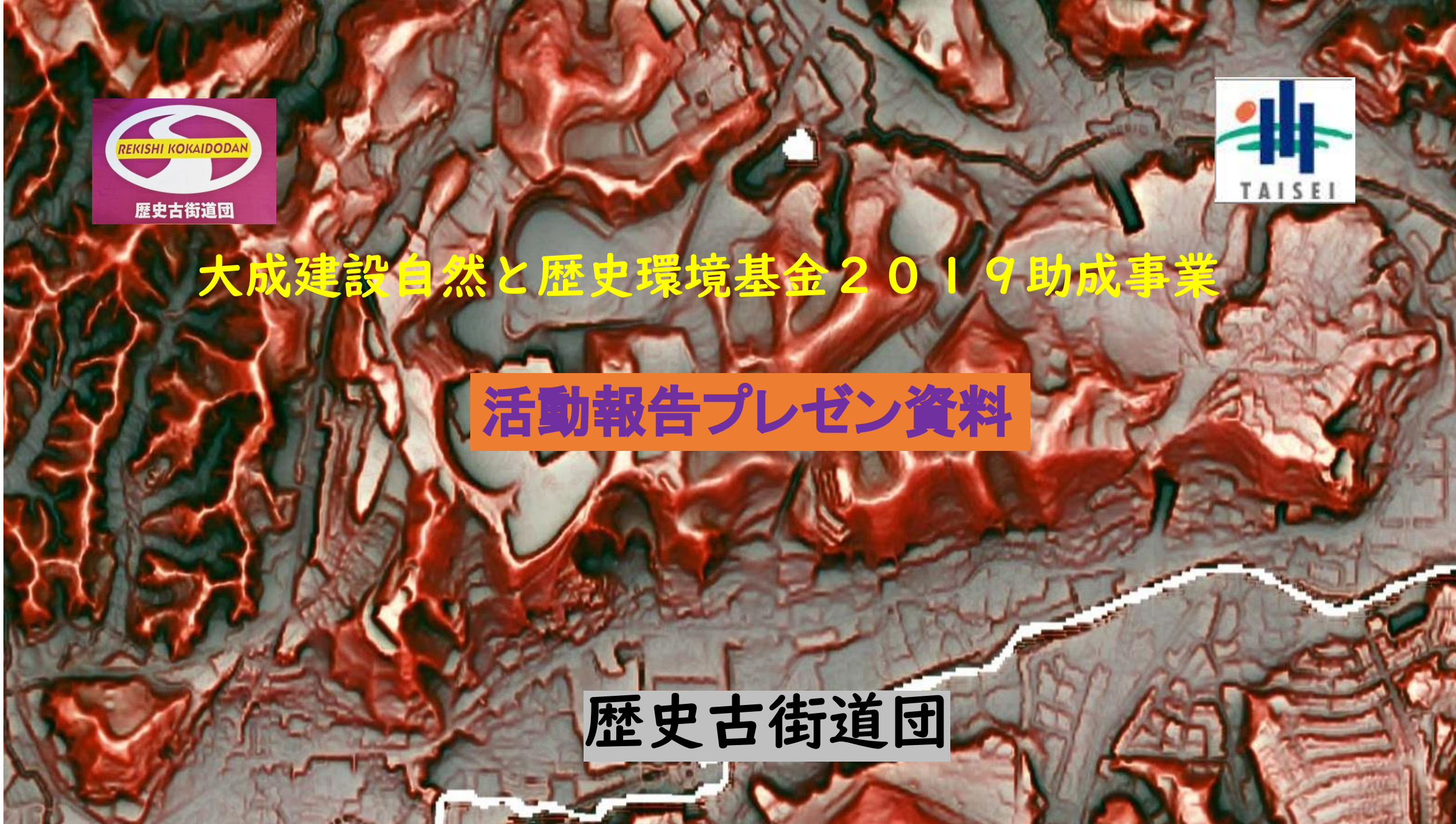


REKISHI KOKAIDODAN
歴史古街道団

TAISEI

大成建設自然と歴史環境基金２０１９助成事業

活動報告プレゼン資料

歴史古街道団

神奈川県と東京都にまたがる「多摩丘陵」
そこは、ちょうど東日本と西日本の中間に位置し、
古来からの重要な東西交通路の痕跡が刻まれていった…

そして、あの鎌倉時代に始まった中世の軍事的かつ物資＆情報の輸送街道網「鎌倉街道」の痕跡もまた、最古の城塞群や遺跡と共にここに残され、忘れられていった…

―――１９８０年代中頃、この事実を初めて実感し、現地にて数多くの遺構を確認し、遂に発掘調査も行われて、大きな成果も得られた。

しかし、初めての現地探索会を参加者公募で行ってから４０年近くが経過。
いまや、郷土の歴史研究者の数は激減し、価値ある地域・地方の歴史遺産群は、未来へとつなげる術や希望や可能性を失いつつある。

今だからこそ、あらためて光をあてたい！　先人たちの暮らしの息吹やたくましさ、知恵と工夫と協働する時代の重なりを想い起こし、現代生活に何らかの形で活かすために…。
この度の「大成建設・自然と歴史の基金」をそのきっかけに、“新しい感覚と手法”を開発して、古道の保護と活用の実践を目指したいと思います。

歴史古街道団・一同

古代からの東西日本の交流の道は、関東では多摩丘陵を横断

申請　タイトル

【申請先】大成建設・自然と歴史環境基金

多摩丘陵の“歴史古街道”の構造確認と地域価値の創造

【目的】

多摩丘陵に奇跡的に残された古街道群の全体構図や歴史価値を、GIS(地理情報システム）を使ったフィールドワークや歴史探索ウォークなどで再発見し、これらの活動の面白さと地域の魅力を次世代に伝える仕組みを構築していく。

・活動期間　2020年2月～2021年1月

・助成金額　50万円

活動・研究の内容

1. 多摩丘陵の歴史古街道群は、古代～中世の時代背景を持っているのが特徴です。これらの構成要素には、古代国家が建設した「古代東海道」の推定ルートがあり、東西日本の交流史に関わる貴重な文化遺産の解明が期待されています。

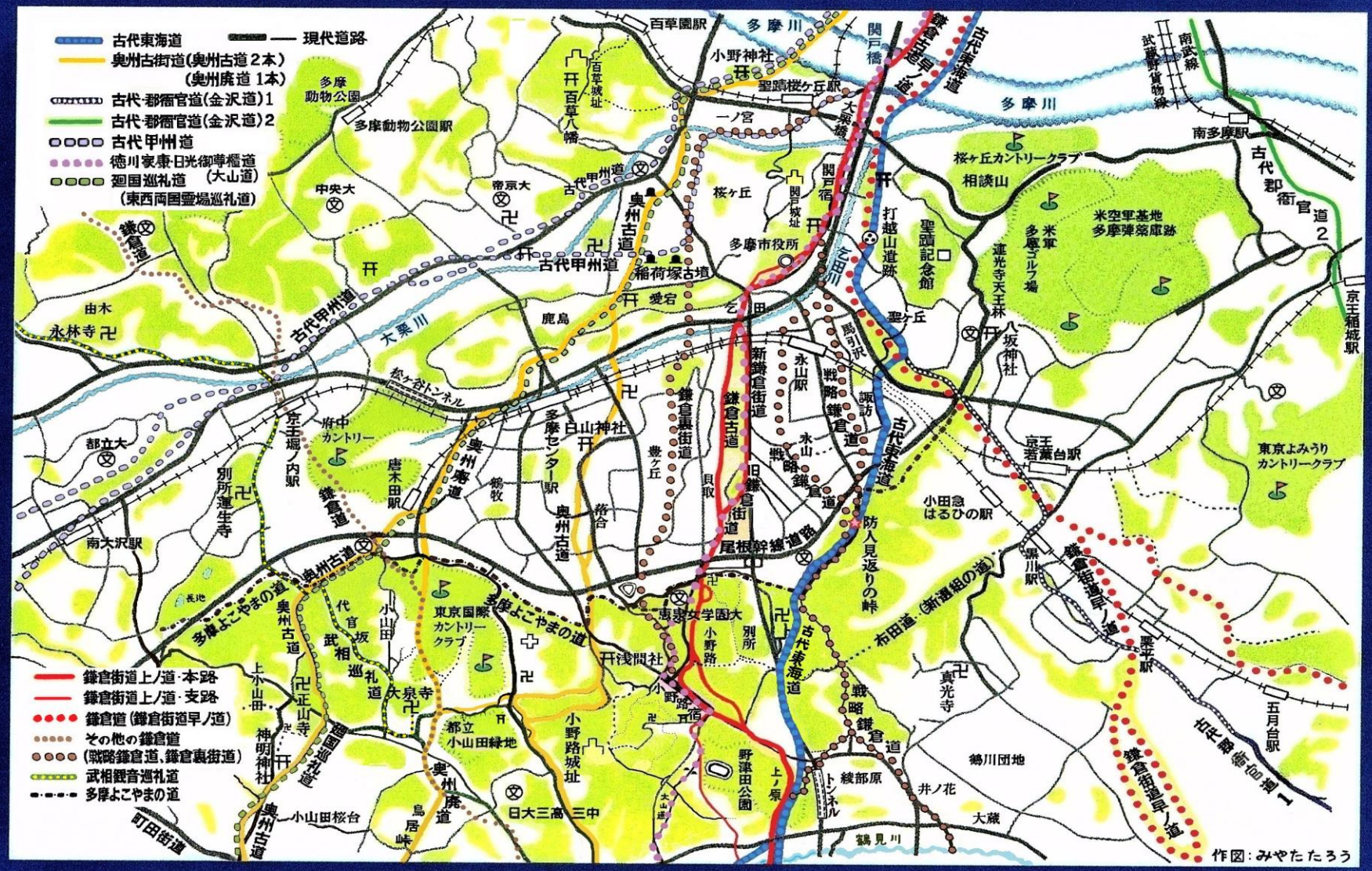
   また鎌倉幕府が設置した「鎌倉から放射状に延びて広がる約7本の主要幹線古道」のうちの「鎌倉街道上道本路、支線路（鎌倉街道早ノ道、鎌倉裏街道、軍事戦略鎌倉道など）」に関わる古道遺構と関連遺跡群（城砦跡ほか）が連続して遺されています。これらの歴史遺産を、過去の研究資料や写真、地図と GIS（地理情報システム） を活用した電子地図で立体化し、さらに現地実踏で新しい知見を得て検証を行うものです。

2. これらの貴重な歴史古道遺跡群の存在を次世代に伝えるため、古道探索のフィールドワークプログラムを準備し、これらの活動の面白さと地域の魅力を発信していきたいと考えます。

「多摩よこやまの道」には国内でも極めて珍しい12種類（本）の古街道が存在

❶鎌倉街道上ノ道本路（鎌倉古道）❷鎌倉街道早ノ道　❸鎌倉裏街道（小野路道、日野往還）❹古代東海道　❺奥州廃道
❻奥州古街道・常盤道＆中尾道　❼武蔵国・郡役所道（金沢六浦道、上総道）❽徳川家康の御尊櫃御成道（日光神霊柩千人行列の道）
❾巡礼街道・武相観音霊場道　❿東西日本往来巡礼道　⓫新選組・剣術出稽古の道　⓬縄文ロード（諏訪・八ヶ岳黒曜石ロード）

【古街道地図の作成❷】 当該エリアの古街道の全体像を把握できるMAPを複数製作し活動の中で配布（補正や着色、修正版）。



多摩古道図

《多摩丘陵・西北部》
多摩丘陵の12古街道
●古代東海道 ●古代甲州道 ●奥州古街道 ●鎌倉街道上ノ道 ●鎌倉街道早ノ道 ●鎌倉街道山ノ道 ●御殿峠古道 ●相原七国峠古道 ●絹の道 ●徳川家康・日光御尊櫃道(大山道、矢倉沢古往還) ●布田道(新選組・剣術出稽古の道) ●巡礼古道(武相観音巡礼道)
＊参考 ●＝古代 ●＝中世 ●＝近世、近代
下地地図:カシミール3D ©宮田太郎
JR中央本線
立川
西国分寺
史跡 国分寺跡
武蔵野
鎌倉街道上道
府中(武蔵国府)
多摩川
日野台地
JR、京王 八王子駅
八王子市
平安時代 大型建物跡
浅川
無名の城砦群
高幡城
三沢城
百草城
聖蹟桜ヶ丘
閑戸城
連光寺赤坂馬飼場 古戦場と城砦
稲城市
高尾
平山城
鎌倉街道山ノ道
相原七国峠古道
御殿峠古道(小田原道)
絹の道(大塚山絹元横倉道)
大栗川
多摩センター
鎌倉街道
霞ノ関
多摩市
永山
古代東海道
鎌倉街道早ノ道
布田道(鶴川街道と小野路道)
小沢城
古代甲州道
多摩丘陵
多摩ニュータウン
奥州古街道
小山田城
鎌倉街道上ノ道
聖蹟桜ヶ丘
黒川
草戸山
大戸
絹文ロード
相原
城山湖
多摩境
小野路城
小野路
新百合ヶ丘
相模原市
巡礼古道(武相観音巡礼道)
小山田
野津田上ノ原
多摩丘陵
橋本
境川
津久井湖
川崎市
津久井城
七国山
徳川家康・日光御尊櫃道 大山道(矢倉沢古往還)
町田市
玉川学園
相模野
JR横浜線
本町田
古淵
町田
相模川
相模大野

多摩丘陵の12古街道

並び順：東から西にかけて

紫色：古代道（飛鳥・奈良・平安時代）　青色：中世道（鎌倉～戦国時代）　橙々色：江戸時代

《主な通過関連地域》東京都に属す4市域に限定

1、布田道　（鶴川街道、小野路道、新選組・剣術出稽古の道❶）　＊稲城市域、町田市域
2、鎌倉街道早ノ道　＊多摩市域、稲城市域
3、古代東海道　＊多摩市域、町田市域
4、鎌倉街道上ノ道　（上道本路）　＊多摩市域、町田市域
5、徳川家康日光御尊櫃道　（矢倉沢古往還、大山道）　＊多摩市域、町田市域
6、奥州古街道　（奥州廃道、奥州古道中尾道、奥州古道常盤道）　＊多摩市域、町田市域
7、巡礼街道　（武相観音巡礼道＊小山田代官坂）　＊町田市域
8、古代甲州道　＊多摩市域、八王子市域
9、絹の道　（大塚山越え鎌倉道）　＊八王子市域、町田市域
10、御殿峠古道　（小田原道）　＊八王子市域、町田市域
11、相原七国峠古道　（関東山ノ辺の道）　＊八王子市域、町田市域
12、鎌倉街道山ノ道　（古町田街道）　＊八王子市域、町田市域

《近世の道》　■＝多摩丘陵１２古街道に含まれる古街道　　■＝ その他の古街道

■徳川家康の日光御尊櫃道　（久能山から日光東照宮へ改葬した際の千人行列の道）
大山道　（矢倉沢古往還）　（宇都宮～大宮～小野路～日向薬師～大山）
■絹の道　生糸街道　（鑓水を通る道が絹の道、それ以外は生糸街道＊複数ルート）
■武相観音巡礼道　（宝暦年間に始まる武相の寺院が連携した信仰＆観光推進事業の道）
■新選組・剣術出稽古の道　（❶布田道、❷日野往還　＊双方は小野路道ともいう）
＊新選組結成前の浪士時代（多摩・江戸時代）の近藤勇、土方歳三、沖田総司、山南敬助に関わる

■八王子道　（八王子北野～小野路を結んだ道　＊小野路道とも）
■津久井道　（甲州や津久井地方と江戸を結んだ東西往還道。原型は古代に始まる）
■鮎街道（道志川～橋本～小山～松木～一ノ宮、関戸～府中～江戸城　＊将軍御用達の献上鮎運搬路）

《近代の道》　■神奈川道（八王子街道）
国道16号線や町田街道の原型となった生糸街道
■鶴川街道　芝溝街道（津久井道）

《全時代に関わる東西尾根の道》　★多摩よこやまの道
（八ヶ岳諏訪湖文化圏から多摩への縄文ロード）
富士眉月弧古道、万葉時代「防人の道」古代東海道、中世城道〈しろみち〉）

大成建設　自然・歴史環境基金　実施スケジュール表

		2019年	2020年												2021年
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
①	イベント実施計画	→													
	組織体制・活動予算・方針														
②	予備調査	→													
	調査地区・方法・企画書作成														
③	科学検証　現地確認														
	❶小野路(鬮谷城)砦							★ 6月6日							
	最古の鎌倉古道跡														
	❷野津田～すぐじ山遺跡							★ 6月14日							
	奈良時代の古代東海道														
	◎見返りの峠(並列する古道)							★ 6月16日							
	古代東海道・中世道路														
	❸海老名(高座)国府								★ 7月4日						
	平安・奈良時代の古代東海道														
	❹野津田(三段並列遺構)										★ 9月26日				
	赤色地図で城砦検証														
④	プレ調査														
	A）大谷戸公園		9月26日	藤原京や平城京に続く推定古代東海道を多摩丘陵に探せ											
	B）打越山遺跡		10月12日	台風のため中止　　推定古代東海道と中世鎌倉街道											
	C）防人見返り峠と並列古道		11月23日	雨のため学習会に変更　大展望の防人見返りの峠と謎の並列古道を探る											
	D）野津田公園		12月21日	これぞ古代東海道が造った大規模窟地									赤色地図の検証講座		
⑤	講演会			★ 2月2日GISの活用講座									★ 11月23日		
	報告会													★ 12月19日	
⑥	歴史マップ作制													→	
	印刷・配布														→
⑦	報告書作成														→

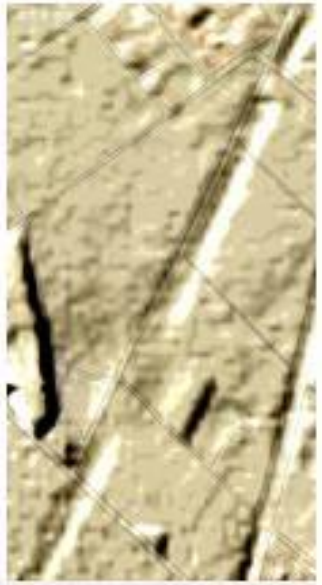
国内発？！ OHTRA 古街道＆城砦跡 科学捜査・探究チーム

大成建設自然・歴史環境基金 助成事業

Old Historical Traffic Road Academia（オートラ）

にご参加下さい！（登録者募集中！）

（＊一般、高校生・大学生、社会人、研究者、愛好者大歓迎）



相模野で発見？の推定・古代東海道痕跡をレーザー測量地図で再確認！

■チームメンバーにはメールで楽しい活動のお知らせを不定期にメールでお送りします。主な活動は土・日曜日（参加自由）。少人数で現地探索や科学検証を実践していきます。

いにしえの「道」を探索していくことで、これまで気が付かなかった未確認の「城砦跡」や「古街道跡」、「遺跡」などを発見できることを、全国各地で実践的に体験してきました。

現地探索をベースに、また古街道の聖地・多摩丘陵をホームグラウンドに、近隣各地へと探っていきます。これまでの紙ベースの地図（明治時代地図、現代地図、昭和時代の航空写真など）も比較しつつ、さらに３Ｄ立体地図や航空測量データ（ドローン、航空機撮影データ）なども駆使して、これまで見えにくかった古道や城跡、遺跡などの実像を、一緒に浮かび上がらせていきましょう。 ★裏面に申込み書あり

★会費なし 登録料なし（自由チームワーク活動です）

主催：古街道・科学検証プロジェクトOHTRA 担当：宮田 kokaido@r3.dion.ne.jp

古街道が集まる奇跡跡の丘！（町田市小野路・野津田）

TAISEI

大成建設自然・歴史
環境基金　助成事業

古道科学検証
チーム
OHTRA
歴史古街道団

メンバー登録申込書

■応募資格：行事に時折参加可能な方、チーム活動に協力的な意思を持つ方（男女問わず、高校生・大学生・社会人大歓迎！）

OHTRA（オートラ）古道科学捜査・探究チーム

Old Historical　Traffic Road　Academia

＊下記にご記入頂いた個人情報は、当会内（歴史古街道団）にて厳重管理に努めます。また、携帯電話番号は緊急時のみに使用し、特にご本人との連絡にのみ使用させて頂きます。

お名前：　　＊フリガナもお願いします。

連絡先（携帯電話、メール）：　　（所属研究会・団体・会社名など：　　）

所属（○で囲んでください）：歴史古街道団　その他　一般

【メール送付先】歴史古街道団内「古街道・科学検証プロジェクトOHTRA」担当：宮田 kokaido@r3.dion.ne.jp

大成建設助成事業「古街道の科学検証プログラム」現地探索会 ①

2020年 6月 6日（土）

■ 日帰り現地探索ウォーク

最古の「鎌倉時代遺跡」が眠る？！“小野路関屋城砦”徹底調査会」

【コース】小田急多摩センター駅改札口前に9:30　集合→路線バスで小野路バス停→関屋の切通し→仮称「関屋城砦跡」（最古の鎌倉古道跡と関跡、曲輪跡→小野路里山交流館と小野神社（各自自由昼食、交流館に軽食あり。ただし参加人数が多い場合は昼食時間内で終わらない可能性があり、なるべく弁当ご持参下さい）→関屋の切通し→大犬久保→関屋城砦・山の神→別所バス停解散（15:45頃）歩程約6km

＊多摩センター行き、永山経由聖蹟桜ヶ丘駅行き、鶴川駅行きあり（ただし時間帯による）

＊梅雨入り時期になりますので、必要な方は虫よけスプレーなどご用意下さい。

▶仮称「小野路関屋城砦」の最古の鎌倉古道跡を歩く（町田市）

大成建設助成事業「古街道の科学検証プログラム」現地探索会 ②

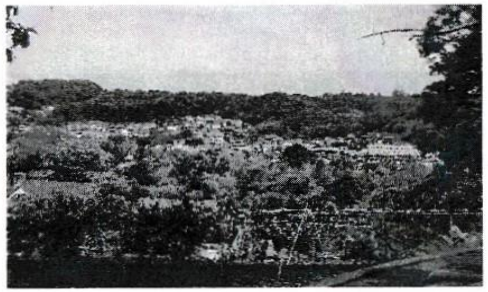
2020年 6月14日（日）

■ 日帰り現地探索ウォーク

鶴見川以南の“奈良時代・古代東海道”の痕跡を追う

（謎の古代駅家跡と「すぐじ山遺跡」～古代測量台ロマン編）

【内容】「続日本紀」の記載にある相模～武蔵～下総の国府間の駅家の位置の現在までの学術論解釈では重要な一駅が抜け落ちていた？実際は野津田に存在か――これについては著書「鎌倉古道を探索しよう」（2015年9月町田市観光コンベンション協会発行。＊現在在庫なし）で記事とMAPで紹介。また2017年9月のイベント「道の力!を活かす時代へ　歴史街道遺産の集い」（多摩市永山ベルブホール）でも資料付きで概略を発表しました（宮田）。野津田～山崎町～木曽町～古淵～座間と続いたと考えられるルートと駅家の実相を現地に探っていきます。



▲ 野津田ぼたん園前の「推定・平安時代東海道」から見た駅家推定地（バス車庫）と上の原の丘

【コース】町田市の神奈中・野津田バス車庫前に10:00 集合→上の原の推定・古代東海道人工窪地形と推定・駅家跡→町田市ぼたん園（休憩）→七国山の鎌倉古道→シーアイハイツ→山崎高校（すぐじ山＊直路山?）遺跡→かたかごの森の古代街道遺構→忠生公園と、がにやら谷戸（各自弁当昼食）→古代の測量台?木曽の大塚→境川橋の推定路→境川団地バス停解散

＊路線バスで町田駅へ または歩いて横浜線「古淵駅」へ　　解散（15:45頃）　歩程約6km

歴史古街道団報「歴史ロマン古道ニュースNo. 42より

古街道の科学検証プログラム」現地探索会❶　【実施日】2020年6月6日(土)【参加者】41名

最古の「鎌倉時代遺跡」が眠る？！“小野路関屋城砦”徹底調査

■町田市小野路町の「関屋の砦跡(仮称)」は未周知の城砦跡。南北朝期に鎌倉古道に関所的なもの加えられた貴重な遺跡地帯(歴史環境)である可能性が高い(中世の初期段階の遺跡は希少と考えられる)。

■手つかずの竹林の中の仮称・関屋城砦で鎌倉古道と推定される場所の遺構群を参加者で確認しました。

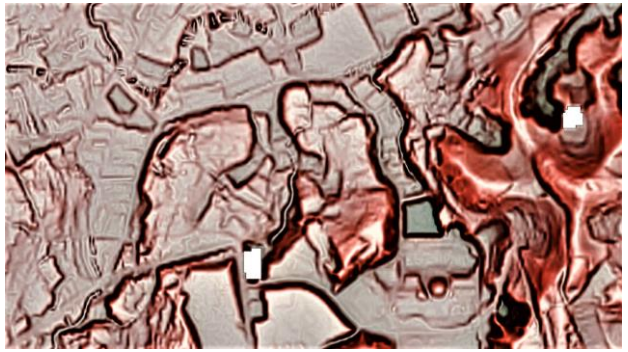
■「古道の道幅計測」「雑木林内の遺構探索」など、資料＆地図と現地を見比べて、初めてこのプロジェクトメンバーを中心に遺構を観察するという興味深い内容となりました。

【コース】小田急多摩センター駅改札口前～豊ヶ丘4丁目バス停～妙桜寺前鎌倉古道跡～一本杉公園　(昼食)～小野路三ツ又～関屋の切通し～関屋城砦(塚・堀切・平場・鎌倉古道・古道の道幅計測、けぞう谷・山の神・シイノキ)～小野路宿里山交流館。

古街道の科学検証プログラム」現地探索会❷　　【実施日】2020年6月14日(日)【参加者】28名

鶴見川以南の“奈良時代・古代東海道”の痕跡を追う
～謎の駅家跡とすぐじ山遺跡～（古代測量台ロマン編）

■「続日本紀」にある相模～武蔵～下総間の古代東海道ルートにおいて、実際には町田市野津田に未認知の駅家が存在したのでは？（駅間距離と文献資料の再検討の結果）という仮説を基に、実地を探索しながら検証していきました。
■古代東海道にともなう駅家があったと推定している町田市野津田バス車庫（神奈中）付近から、野津田公園東側に続く華厳院坂を登り、野津田上ノ原へ。発見している三段構造の鎌倉古道遺構の全体構造を探索。またその一部では道幅を簡易計測。さらに、七国山・鎌倉井戸を経て、すぐじ山遺跡（奈良時代～中世の道路遺構と住居跡など）の位置確認と、古代測量台（木曽の大塚）ロマンを探索。



【コース】 野津田町のせせらぎ公園広場～華厳院坂・鎌倉古道上ノ道遺構～上ノ原の人工窪地形～鎌倉古道上ノ道の三段遺構～推定・駅家跡（野津田バス車庫）～丸山橋～町田市ぼたん園（昼食）～車塚～七国山の鎌倉古道遺構の構造観察、鎌倉井戸～山崎八幡神社～すぐじ山下遺跡跡と推定の一つである窪地地形～かたかごの森の2条の古道跡～忠生公園（解散）。

古街道の科学検証プログラム」 OHTRAチーム現地調査　　【実施日】**2020**年**6**月**16**日（火）　【参加者】24名

謎の大規模道路状遺構が多摩よこやまの道にあった！
～古代東海道や中世道路の痕跡を追う～（多摩よこやまの道の並列古道編）

■多摩よこやまの道の尾根筋には、並行する大規模な古道跡が薮の中に残されている。これは防人や朝廷の軍隊が往来した古代東海道跡なのか、あるいは鎌倉街道に属す中世の道跡なのか不明のまま現在に至っている。この道跡の規模を実地に立って簡易測量を行った。

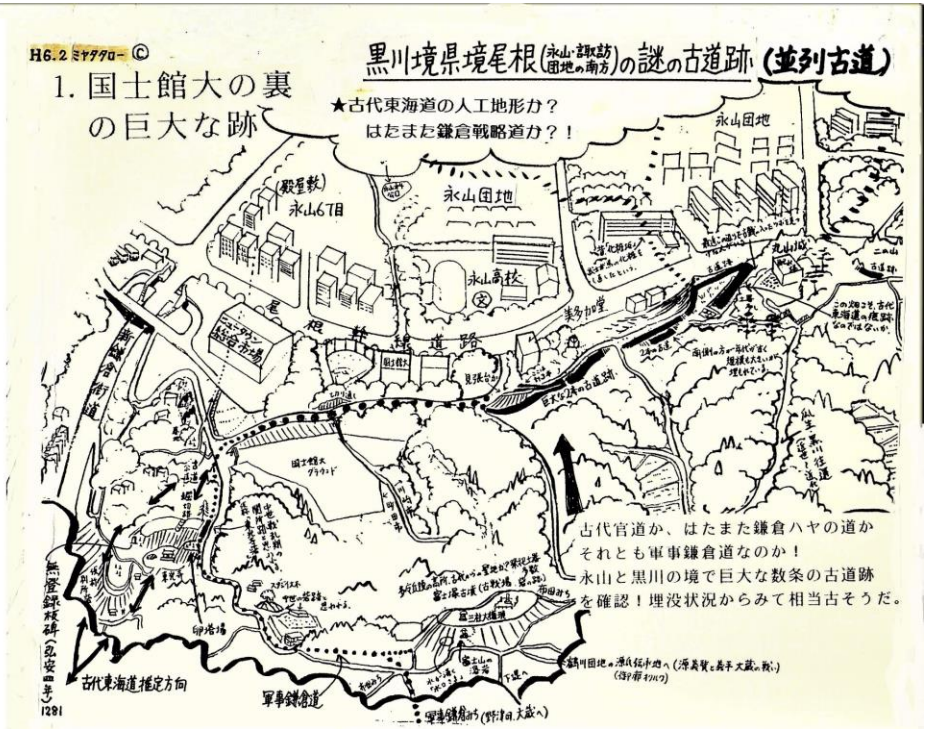
【コース】　「小田急永山駅」改札口前～「永山高校」バス停～多摩よこやまの道～並列する大規模古街道跡（簡易測量）～国士舘大学付近の探索～（昼食）～防人見返りの峠付近の探索～丸山城付近の探索～瓜生黒川往還の探索（海道谷戸）～海道ひだまり公園(解散)～小田急多摩線「はるひの駅」

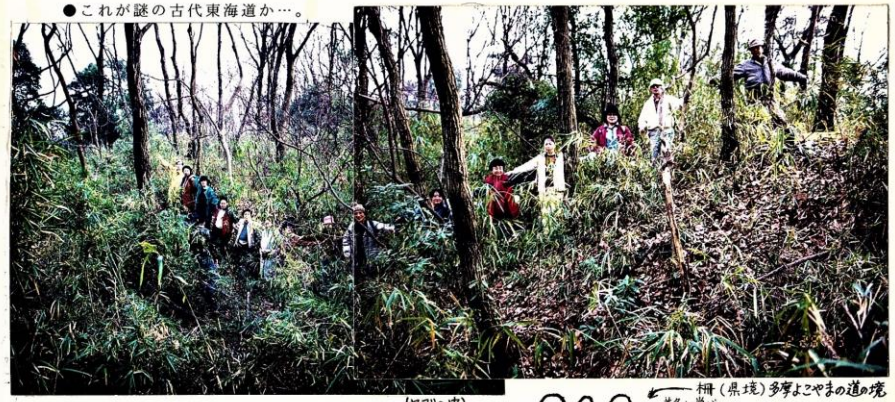
■尾根上の山林内に並列して残る大規模古道を調査　2020年6月16日（火）

平成6年（1994年）作成の「並列する謎の大規模古道跡の図」（作成者：宮田太郎）　＊右側上と下の図

1994年頃には現地にて確認できていた大規模古道跡（2条の古道遺構が並んでいる）だが、多摩ニュータウンの南はずれの境界線（多摩市と川崎市の県境）が未確定であったこともあり、測量することなく今日まで25年以上が経過していた。事前草刈りを経て、今日、ようやくその一部の構造が確認が出きたことは大きな成果であった。（推定・古代東海道、中世古街道）

少しずつ土をはがしていくと、上層は明治時代、中層は鎌倉時代、最下層は飛鳥時代と、各時代の道路跡が見つかっていった。
推定「古代東海道」は道幅が12Mもあった！
国内最大の道跡の一つ（東京都多摩市連光寺）





●これが謎の古代東海道か…。

【写真】多摩市諏訪団地と川崎市麻生区黒川の境界尾根に、並行して残る二本の大きな古道痕跡に並んでみたところ。これで一本分だ！

「古街道の科学検証プログラム」OHTRAチーム現地調査

【実施日】2020年6月16日（火）
【調査チームリーダー】宮田太郎（団長）
【参加者】２４名

【テーマ】
謎の大規模道路状遺構が多摩よこやまの道にあった！
～古代東海道や中世道路の痕跡を追う～
（多摩よこやまの道の並列古道編）

★専門チームOHTRAを結成しての第１回チーム活動は、特に古道研究に熱心なメンバーが集いました。社会が新型コロナウィルスの影響で自粛傾向にある中で、ドローンでの現地撮影も体制が整わず、当日は希望者のみに限定し、マスク着用や互いの会話を減らすなどの工夫をしながら野外活動をスタート。多摩市永山地区最南端の多摩よこやまの道に遺る「並列する大規模古道遺構」の実地調査を行いました。

6月より団イベントでも古道の検証を行って参りましたが、１６日はOHTRAチームによる本格的活動の始まりの日でした。 総勢25名の参加者、心配されていた暑さも和らぎ、風のお蔭で蒸し暑さからは解放されました。
「新日本歩く道紀行『歴史の道』100選」「「美しい日本の歩きたくなるみち５００選」として、近年多くの方々に親しまれている多摩よこやまの道には、「並列する謎の古街道跡」の解説板が立っています。
藪の中に残された古道はどのような幅でどこへと繋がっていくのか？　その解明をしたいと歴古団は長年考えてきましたが、漸く実現への第一歩を踏み出すことになりました。

【テーマ】
謎の大規模道路状遺構が多摩よこやまの道にあった？！
～古代東海道や中世道路の痕跡を追う（多摩よこやまの道の並列古道編）～

【内容】
多摩よこやまの道の「防人見返りの峠」と国士舘大学校舎の間にある「並列する大規模な古街道跡（古代東海道もしくは中世古街道跡）」について今後どのように調査していくかの現地検討会。
＊ＯＨＴＲＡ(オートラ) 科学捜査・探究チーム
Old Historical Traffic Road Academia

現地探索をベースに、また古街道の聖地・多摩丘陵をホームグラウンドに、近隣各地へと探っていきます。
これまでの紙ベースの地図（明治時代地図、現代地図、昭和時代の航空写真など）も比較しつつ、さらに３Ｄ立体地図や航空測量データ（ドローン、航空機撮影データ）なども駆使して、これまで見えにくかった古道や城跡、遺跡などの実像を、一緒に浮かび上がらせていきましょう。
小田急多摩線「小田急永山駅」改札口前 集合　２４名参加　200円

【コース】
「小田急永山駅」改札口前～近くの公園で受付(9:30)～路線バスで「永山高校」バス停下車～多摩給食センター前～多摩よこやまの道～並列する大規模古街道跡（簡易測量）～国士舘大学付近の探索～諏訪南公園（12:20～12:55昼食・自己紹介・野外学習）～防人見返りの峠付近の探索～防人見返りの峠～丸山城付近の探索～瓜生黒川往還の探索（海道谷戸）～海道ひだまり公園(15:10解散)～小田急多摩線「はるひの駅」

推定・古代東海道跡が眠る？丘　（多摩市永山6丁目尾根）
＊黒川境 「多摩よこやまの道」「防人見返りの峠」付近の畑地

大成建設助成事業「古街道の科学検証プログラム」現地探索会③

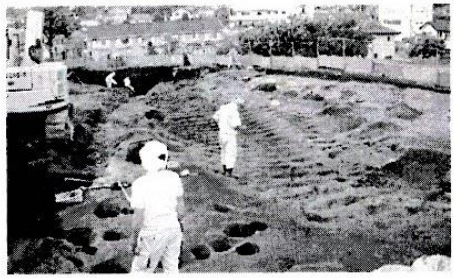
2020年 7月 4日（土）

■ 日帰り現地探索ウォーク

「相模国の古代国道から探る幻の相模国・初期国府の謎」

～ 新説?! 海老名（高座）国府はここにあった?! ～

【内容】平安時代と奈良時代のルートが異なる古代東海道がぶつかる地点であり、相模川氾濫原の海老名耕地に臨む地こそが謎の高座国府＝「初期・相模国府」が眠っている場所ではないか――。 かねてから探索会で度々紹介してきた「道から読み解く国府の位置」をテーマに現地を探索します。



▶海老名の推定・平安時代古代東海道跡（海老名市教育委員会「望地遺跡」より）

【コース】小田急線「海老名駅」中央改札口前に10:00 集合→縮小復元・七重の塔→相模国分寺跡（温故館。大山の鉱物セラドナイトの勾玉、国分寺資料見学予定）→奈良時代東海道推定ルート→伊勢山自然公園→平安時代古代東海道推定ルートと望地遺跡→瓢塚古墳→上浜田古墳群→鳳勝寺と国府跡推定地（宮田説）→海老名駅周辺にて各自自由昼食（弁当も可。広場、有り）→上郷中世遺跡群→御屋敷遺跡→有鹿神社→海老名氏館跡→大山街道跡→河畦公園と旧大山街道の渡し場跡→相模線「厚木駅」または小田急線「海老名駅」　解散（15:30頃） 歩程約6km　＊気温が高い場合はコースを短縮する場合があります。

このイベントはチームの自主活動です　対象は科学検証チームメンバーのみの活動となります

「古街道の科学検証プログラム」OHTRAチーム現地調査

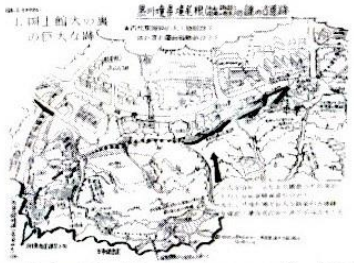
2020年 6月16日（火）

■ 日帰り現地探索ウォーク

謎の大規模道路状遺構が多摩よこやまの道にあった?!

～古代東海道や中世道路の痕跡を追う（多摩よこやまの道の並列古道編）～

【内容】多摩よこやまの道の「防人見返りの峠」と国士舘大学校舎の間にある「並列する大規模な古街道跡（古代東海道もしくは中世古街道跡）」について今後どのように調査していくかの現地検討会。10時～14時までの軽い現地踏査を予定。



★詳細は科学検証チームメンバー全員にメールにてご案内いたします

＊科学検証OHTRAチームに関してのお問い合わせ 新規メンバー登録（無料、会費なし）は宮田（090-7002-3431 kokaido@r3.dion.ne.jp）まで

＊現在メンバー登録済み35名　若干名の追加募集中です（50名になり次第締切予定）

歴史古街道団報「歴史ロマン古道ニュースNo. 42より

古街道の科学検証プログラム」現地探索会❸　　【実施日】2020年7月4日（土）　【参加者】37名

相模国の古代国道から探る幻の相模国･初期国府の謎

～新説？!海老名（高座）国府はここにあった？!～

■古代東海道は相模野～多摩丘陵～武蔵野を結ぶ古代律令時代の国道。その相模野における初期・相模国府である高座国府は海老名にあったと推定。その推定地（宮田説）を探索し、ルートの全体像を把握できるよう努めた。新たに一般参加者も７名参加。

■国分寺･国分尼寺・駅路の浜田駅をセットとして見た時､国府があった場合の位置は相模川の洪水に遭わず、駅路の結節点にあたる海老名市の勝瀬地区であるとの視点で幻の相模国府の推定位置を探索した。

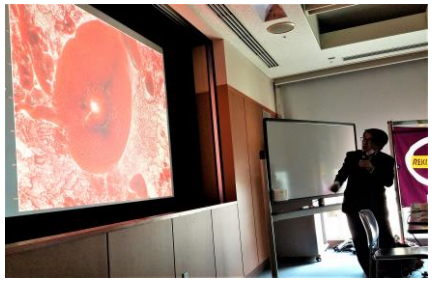
【コース】小田急線「海老名駅」七重の塔～国史跡・相模国分寺跡～海老名市立郷土資料館～奈良時代東海道推定ルート～伊勢山自然公園～目久尻川～平安時代古代東海道推定ルートと望地遺跡～望地道下～カッパ伝説地と小園橋～瓢箪塚古墳(ひさごづかこふん。相模国造之墳墓)～国分寺と大ケヤキ～駅前で自由昼食～国府跡推定地（宮田説）～春日山鳳勝寺～八坂神社～上浜田古墳群第１～３号墳(浜田三塚公園)～上浜田古墳群第６号墳～上浜田中世遺跡群～小田急線「海老名駅」。

立体地図の専門家・千葉さんの講演と共同研究開始

アジア航測㈱　千葉達朗さん

（赤色立体地図を発明され、地球＆地域科学の解明に最先端技術で取り組まれている研究者であり科学者。＊テレビ番組「ブラタモリ」にも立体地図を提供）

多摩丘陵古街道の古街道の解明を目的とした当プロジェクト事業の推進への協力を快く受けて下さったアジア航測㈱の千葉さんと、8月から数回にわたり現地踏査を実施。合わせて立体地図データを基にした共同研究を開始。
――その結果、これまで把握していた遺構群が、より科学的な見地で解明され始めることとなった。 1986年の研究開始から35年を経て、ようやくGIS活用により立体的な実態解明ができるようになった意義は大きく、次への活動への推進力ともなった。



「公益信託 大成建設/自然・歴史環境基金」助成事業

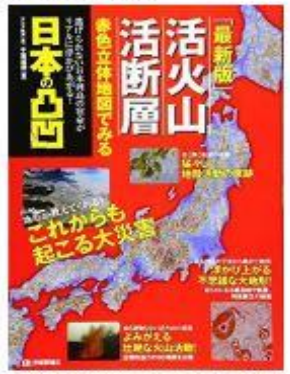
歴史古街道団　講演会のお知らせ
古街道科学検証の実践講座Ⅲ
千葉達朗さん〈アジア航測（株）〉講演会

赤色立体地図で検証する多摩丘陵の古街道遺構

■日時：2020年11月23日（月・祝）
14：00～16：00（開場13：30）
■会場：多摩市・関戸公民館（8階）大会議室
■講師：千葉達朗さん（赤色立体地図発明者）
■参加費（資料代含む）：
一般1000円　団員700円
（団員ご夫婦の場合も各自700円）
高校生以下無料
■申込：事前申込不要　当日受付
■定員：70名（先着順）
（コロナ対策として通常定員より入場が制限されています。人数を越えた場合、ご入場できない場合がありますのでご了承ください。）
＊窓は全て解放します。
＊マスク着用・手指の消毒・検温のご協力をお願いします。

多摩市・関戸公民館（TEL: 042-374-9711）
〒206-0011 東京都多摩市関戸4-72（ヴィータ・コミューネ内）
アクセス：京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口から徒歩3分
ＯＰＡビル8階（VITA内）

【内容】地理空間科学の研究において大注目の「赤色立体地図」を発明された千葉達朗さんに、赤色地図から読み解く大地の歴史、中世の城跡、古道の様相などについて、また、多摩丘陵の古街道群を検証する上での活用の可能性や利用方法などについてお話をしていただきます。



千葉達朗さんの著書　『最新版 活火山活断層 赤色立体地図でみる日本の凸凹』

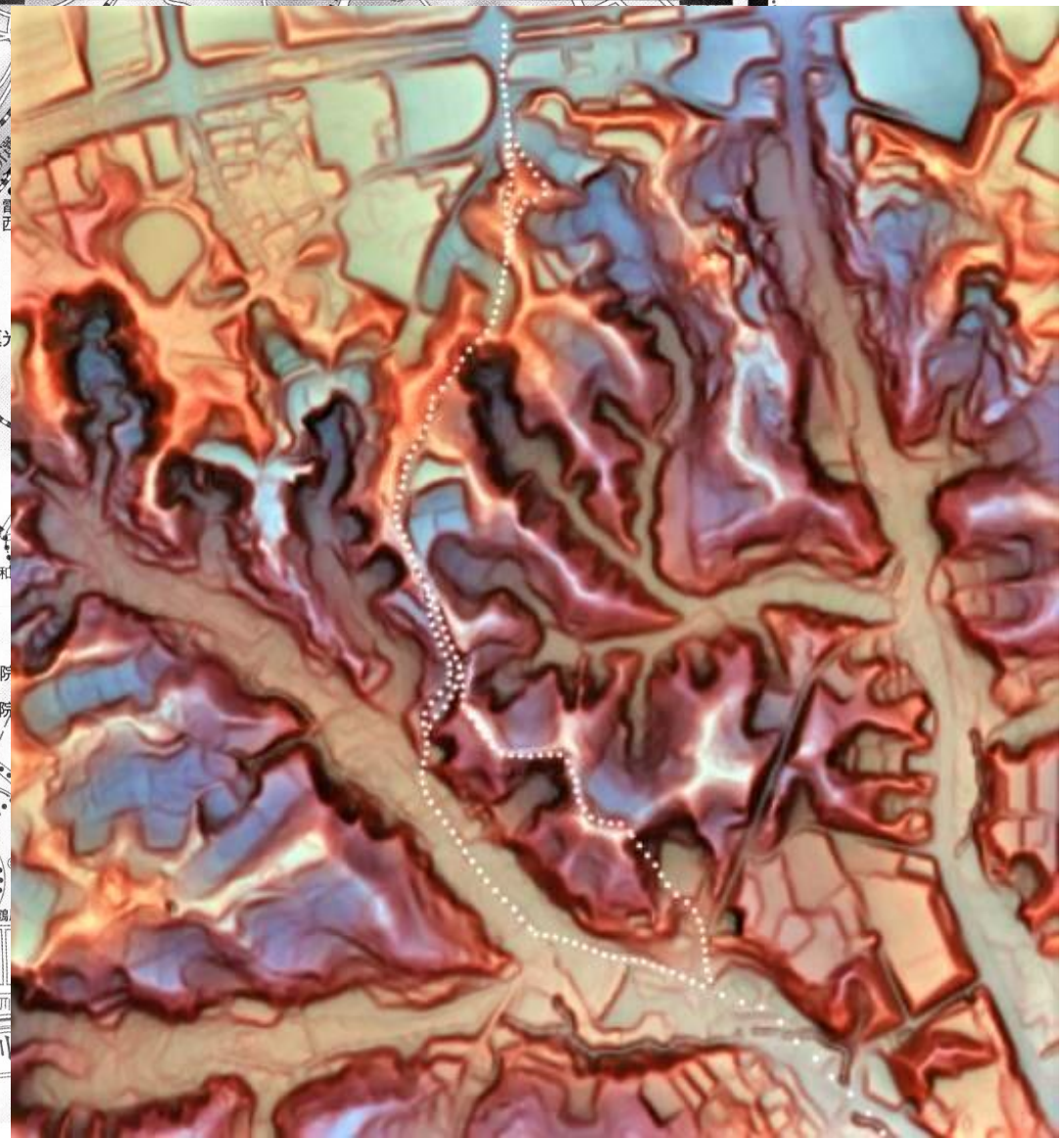
講師：千葉達朗（ちばたつろう）
アジア航測株式会社先端技術研究所　千葉研究室　室長
フェロー　日本火山学会　副会長
地形地質、第四紀学、防災の専門家、赤色立体地図を2002年に発明、その普及に力を注ぐ。あらゆるデータの可視化について研究中。宮城県石巻市出身。相模原市在住。

歴史古街道団
本部：東京都多摩市
代表：宮田太郎／TEL 090-7002-3431
https://www.rekkodan.com/

2020-NO. 23

鎌倉古道ガイドマップ

平成三十七年



東京医療学院大
豊ケ丘（六）
貝取（五）
落合（六）
南野（一）
南野（二）
南野（三）
恵泉女学園大
川崎一号水道
卸売市場
永山（七）
国士舘大
石久保
小野路町
別所
下堤

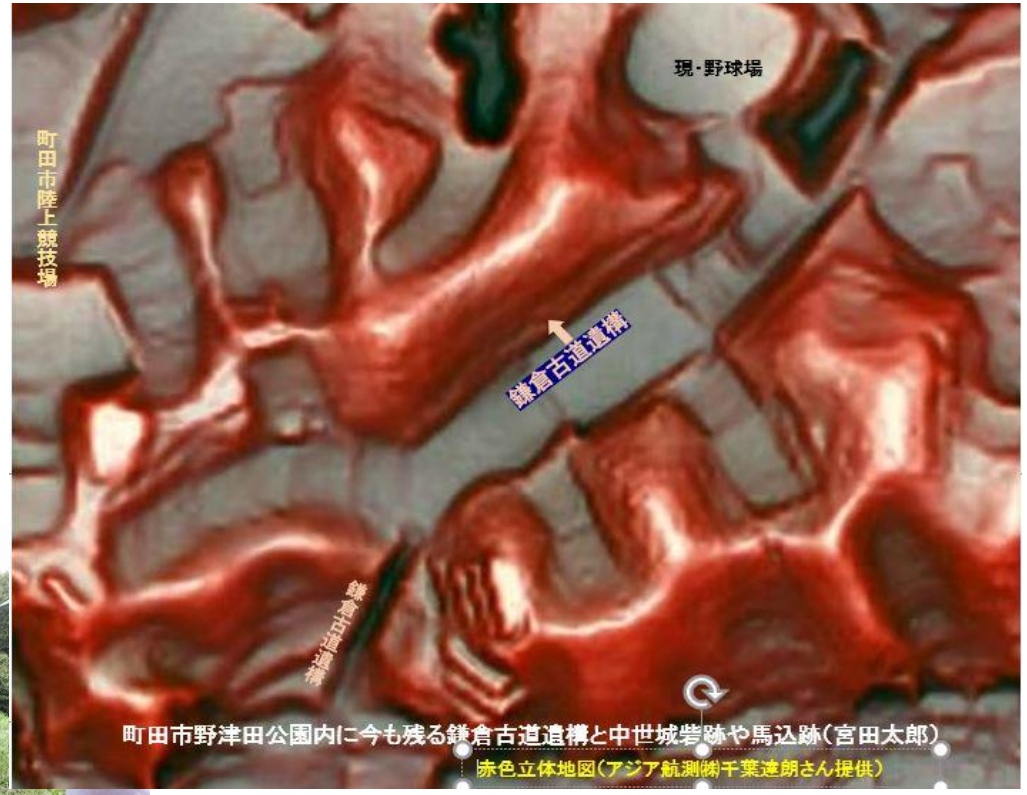
東京医療学院大
豊ケ丘（六）
貝取（五）
落合（六）
南野（一）
南野（二）
南野（三）
恵泉女学園大
川崎一号水道
卸売市場
永山（七）
国士舘大
小野路町
町田市
野津田公園
狐久保
特別支援学校
本村
中村
川崎二号水道
関ノ上
野津田町
図師町
薬師池
薬師台

古街道の科学検証プログラム」現地探索会❹　　【実施日】2020年9月26日（土）　【参加者】30名

赤色地図に浮かび上がる野津田の古街道
“鎌倉古道の三段並列遺構と謎の馬牧跡”

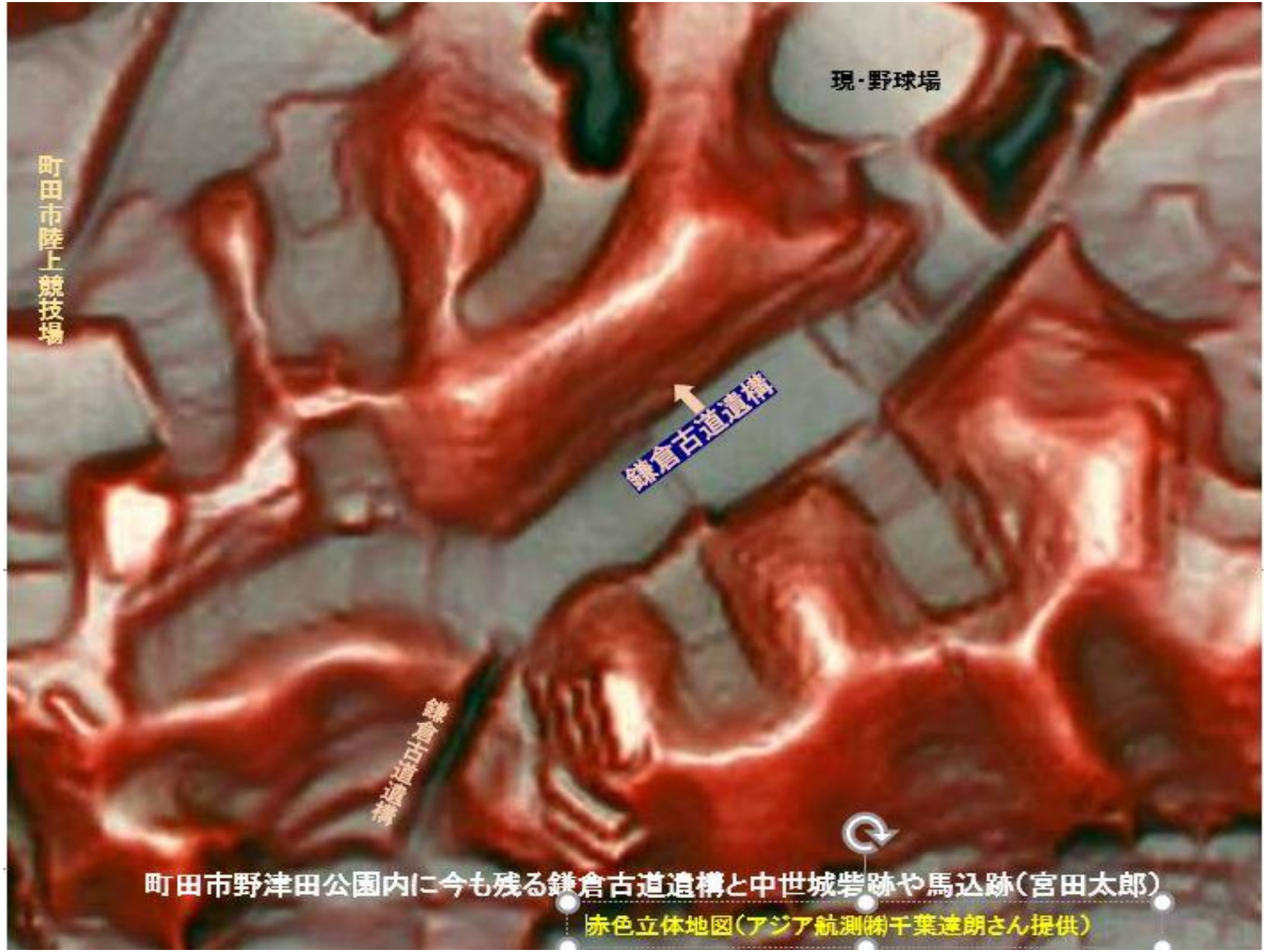
■町田市野津田公園一帯は、鎌倉幕府と室町時代の鎌倉関東府による「中世軍事駐屯基地」として兵団駐屯と馬牧跡がセットで遺る希少なエリアとの考察を現地にて検証

■その中心域である3段構造になっている城砦壁面の鎌倉古道痕跡について、３D地図のみならず赤色立体地図にもその遺構が浮かび上がっていることが判明（野津田公園東側の上ノ原地区）。このプロジェクト最大の成果となった。



町田市野津田公園内に今も残る鎌倉古道遺構と中世城砦跡や馬込跡（宮田太郎）
赤色立体地図（アジア航測㈱千葉達朗さん提供）

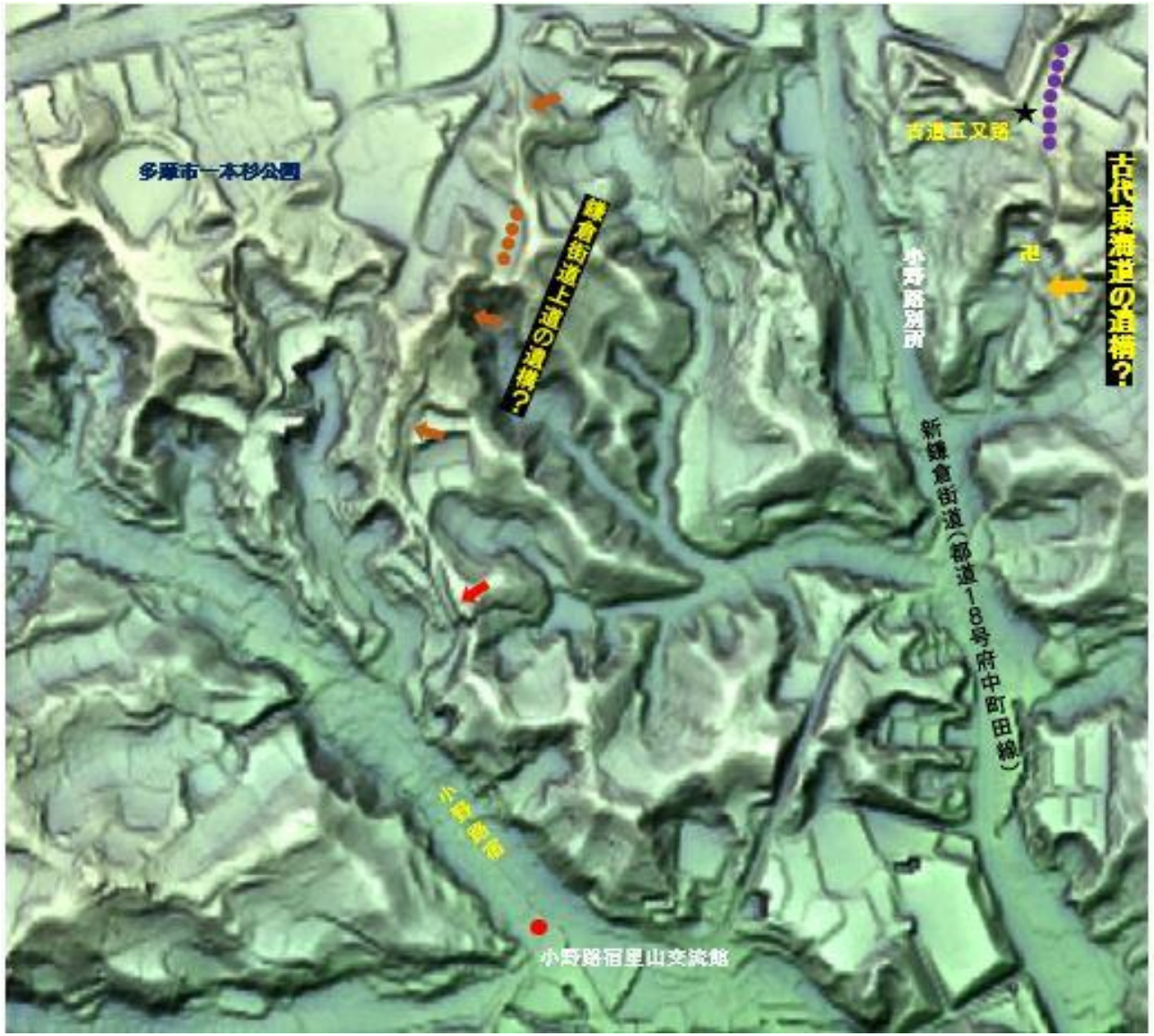
【コース】町田市「野津田バス車庫前」～江戸時代絵図面の支線ルート～華厳院坂の鎌倉古道跡～仮称「野津田上ノ原城砦」の3段並走する鎌倉古道遺構～馬牧跡群～城砦尾根～（各自弁当昼食）～のづた三山探索～鎌倉古道上ノ道～古代の烽火台（飛尾山）見張り台付近～上の原遺跡発掘現場～華厳院坂の鎌倉古道石碑(解散)～野津田バス車庫前バス停



町田市野津田公園内に今も残る鎌倉古道遺構と中世城砦跡や馬込跡（宮田太郎）

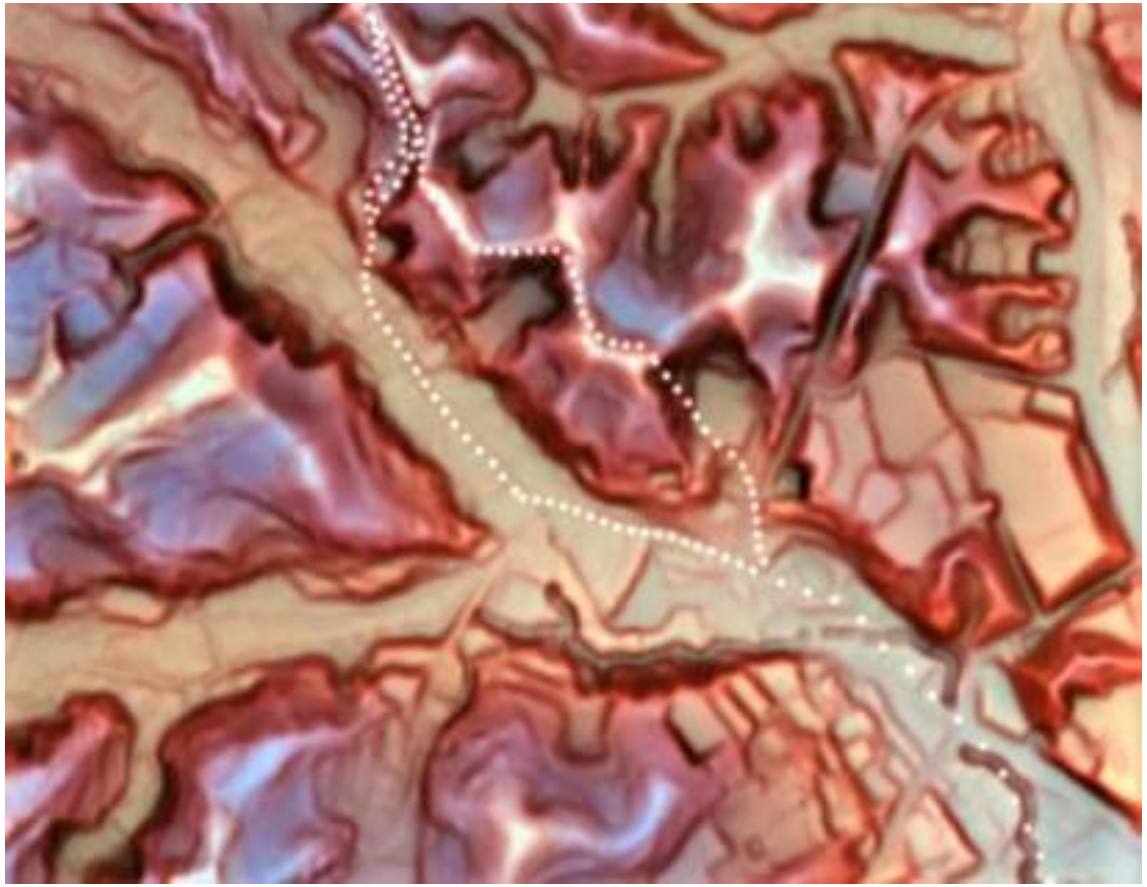
赤色立体地図（アジア航測㈱千葉達朗さん提供）

町田市小野路地区と野津田地区、多摩市永山と川崎市黒川の境尾根付近にて、古代東海道と鎌倉街道遺構を再確認

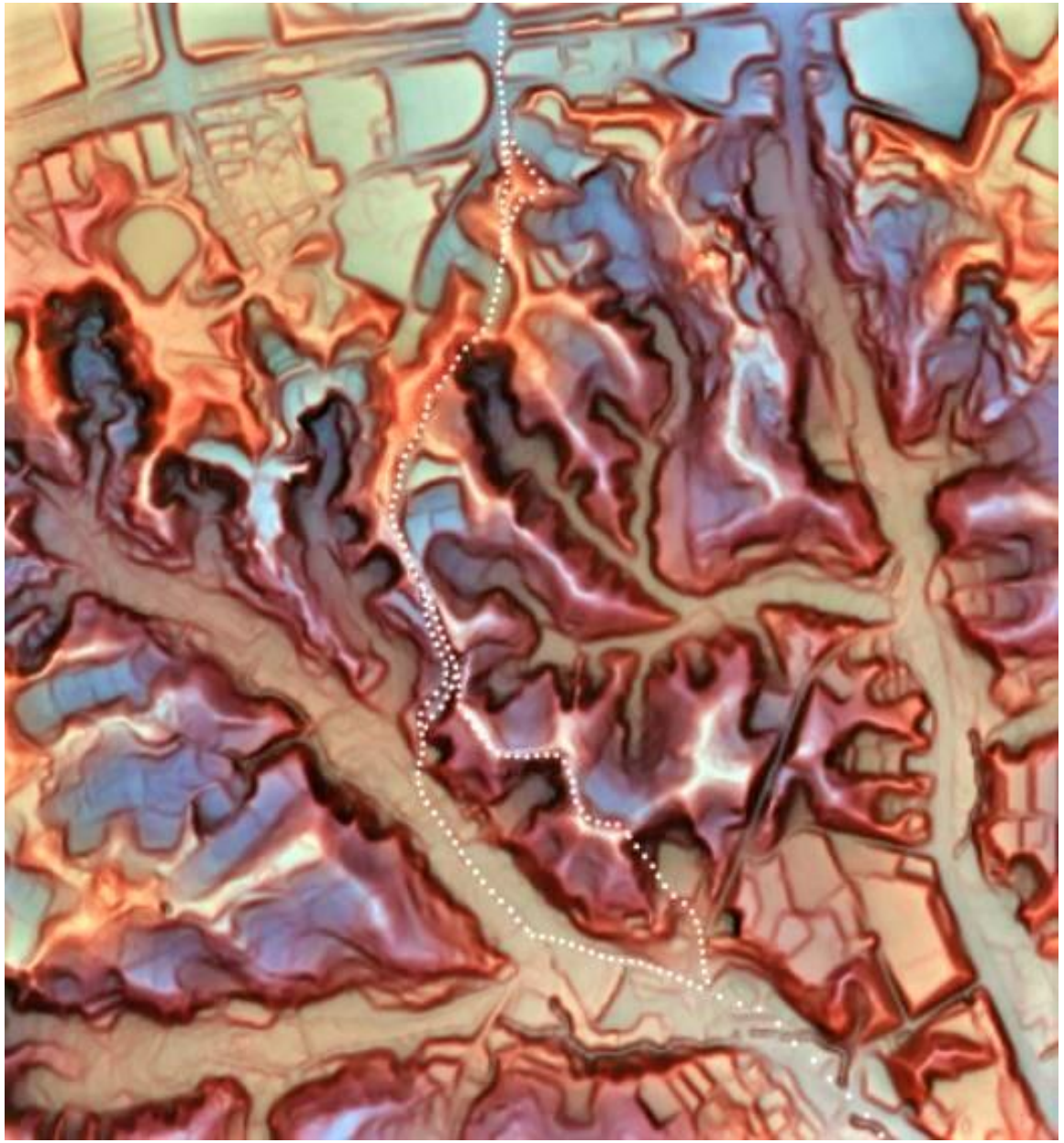


3D立体地図にて古街道遺構位置の確認。尾根以外の表層崩落が激しい多摩丘陵の地形特性の中で、古代～中世の古街道遺構は、途切れつつも遺存していることがわかる。現地に立っての野外観察との併用が欠かせない。＊3D地図は国土地理院地図をベースに使用

■赤色立体地図の町田市小野路宿地区における最古層の鎌倉古道遺構（中世４段階の１～３＊鎌倉時代～南北朝時代に相当）を抽出。地下に埋没している部分と地上に表徴として現れている部分、後世継続使用があった部分の３種の様相が明らかになってきた。（＊千葉達朗さんに赤色地図のご提供、並びに推定ラインのプロットで多大なご協力を頂きました）。



【小野路宿と東側の関谷城砦付近の鎌倉古道】

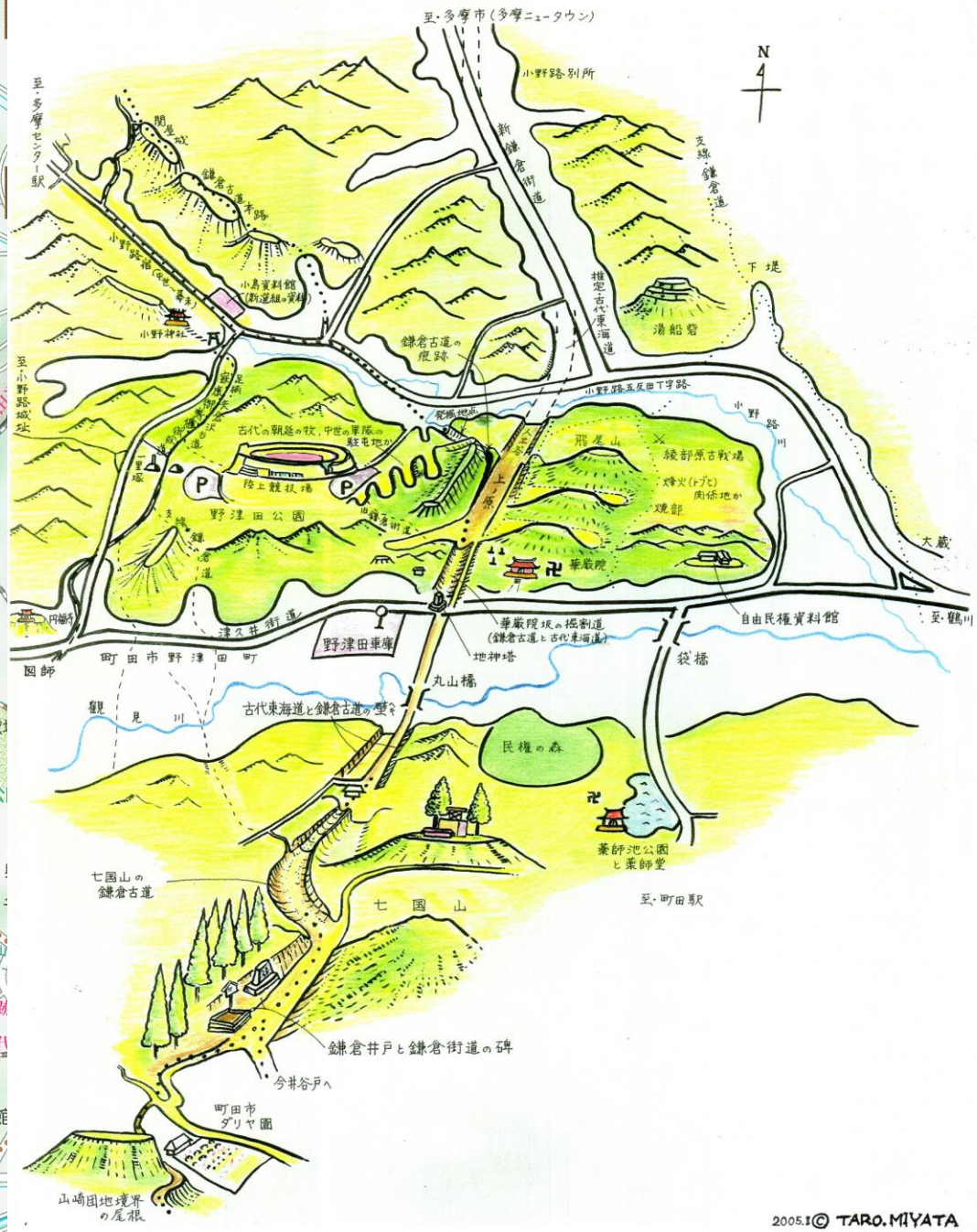


【小野路宿、石久保、笠松地区全体の鎌倉古道】

平成二十七年

A　B　C

至・乞田、関戸、府中
落合中
落合団地
日野往還・小野路道
新選組剣術出稽古の道
鎌倉古道
豊ヶ岡団地
貝取団地
大軍勢が通った長い谷
永山団地
永山高
大規模な並列する古道跡
多摩市
国士舘大学多摩校舎
川崎市麻生区
東京医療学院大学
恵泉女学園大学入口
本杉公園
妙櫻寺
京王多摩車庫前
多摩よこやまの道
市境線
明治大学黒川農場
八王子道
恵泉女学園大学
一本杉公園
八王子道支路
奥州古道
キヤノンスポーツパーク
鎌倉古道崖の断面
鎌倉街道（現代の幹線道路の通称名）
東光寺
町田市
小野路配水場
大山道
矢倉沢古往還・徳川家康の御尊櫃御成道
浅間神社
ピアノカフェ・ショパン
小野路三ツ又
旧鎌倉街道
別所バス停
鎌倉道
古道の集まる高台「富士見塚山」
栗木道
富士見塚
大犬久保
関屋の切通し
布田道
関屋砦（中世の関所を供う砦跡か）
古代東海道
大和朝廷の国道
防人の道
S字を描く鎌倉道（下堤古道）伝・新田軍通過
小野路宿
小島資料館
牛舎
萩生田牧場
小野路宿里山交流館
善楽寺
小野神社
小野路町
国内最大級の鎌倉古道発掘現場（野津田上の原遺跡）（縄文、古墳～奈良時代住居址群、中世道路跡）
小野路球場
グラウンド
万松寺
万松寺谷戸
旧鎌倉街道
スダジイ群
ダイ（田極家）
白道寺
江戸時代の道
村野常右衛門生家
矢倉沢古往還（家康の御尊櫃御成道）
ばら広場
鎌倉橋
乗越八幡跡
小野路一里塚
野津田公園
野球場
中世の建物跡群出土
綾部原古戦場跡（伝説地）縄文～戦国時代複合大遺跡群
コウセン塚
図師小野路歴史環境保全地域
陸上競技場
中世の軍事駐屯基地・馬牧跡
古代～中世の烽火台跡か
奥州古道支路間道
図師地名発祥伝説白山神社跡
農村伝道神学校
野津田高校
乃平庵
西山美術館
俊宣茶房
町田市立自由民権資料館
農家料理高宮
古街道が集まる丘・野津田上の原
旧・芝溝街道（東京芝↔上溝）
鎌倉古道石碑
日本聾話学校
ろうわ学校
地神塔（元高札場）
華厳院
鶴



2005.1© TARO.MIYATA

【古街道地図の作成❶】

古代街道・科学検証プログラム始動！　プレ第4弾　野外教室編④

これぞ「古代東海道」が造った大規模窪地形？！（小野路五反田～野津田上ノ原～）

未完成であった「改訂版・野津田丘陵の鳥観図」のカラー化作業を実施し完成させました。

【まとめの報告会を実施（２０２０年１２月）】

研究成果（まとめ）

【成果】

この度の「大成建設・自然と歴史環境基金」からの助成を受けての事業では、全国で始めての「古街道の科学検証プログラム」活動が始まり、OHTRA（オートラ）というアカデミック志向の研究チームが結成されました。また、これまでの現地踏査実績と、立体地図の専門家の研究が共同研究の形で協力し合うきっかけにもなりました。

■多摩丘陵西部に集中する約12ルートの古街道の内、鎌倉古道（鎌倉街道上道・本路）と推測される中世道路遺構が、赤色立体地図でもはっきりと確認できる地点が複数個所にわたって確認された（特に小野路地区北部と野津田上ノ原地区）。 また推定・古代東海道の遺構についても、2本の並列する大規模古街道遺構を活動の中で実地踏査し、その先の遺構についても、まだ未確定ながら推定ルートの検証を立体地図情報と合わせて行うことが出来た。

■多摩丘陵の古街道群の全体構造を把握するために、12古街道を選定し、活動の中で参加者に地図やMAP、文章で提示し、資料配布に努め、また赤色立体地図を理解し親しむための講演会や資料配布が実現できました。

【自己評価と課題】 事業が決定してまもなくプレ活動を数回行いました。
2020年の開始早々の新型コロナ禍で、実質6月までは大きな活動はを自粛。その後も室内・野外活動とも制限される中で、当初考えていた航空写真解析は断念。
しかし、表層崩落が顕著な多摩丘陵地形において、消えかけた古街道遺構のみならず、未だ地下に温存されている古道遺構が多数あることも確認。１年間でしたが、今後の研究続行と成果への期待に結びつく大きなきっかけとなりました。
まだまだ不明な点が多い現状ですが、さらに発展させていきたいと思います。

【報告書作成者】歴史古街道団 代表 宮田太郎
所在地：多摩市桜ヶ丘 kokaido@r3.dion.ne.jp
TEL090-7002-3431

推定・鎌倉街道上道 （多摩市と町田市の境界付近）小野路町北部

野津田（町田市）の通称・華厳院坂の鎌倉古道標柱

鎌倉のような切通しと掘割状の道路遺構

野津田の推定・鎌倉街道上道（上ノ道）跡）

推定「鎌倉街道上道・本路」の遺構（町田市上の原遺跡）
——検出された道路遺構は、国内最大級・幅12Mもある中世古街道跡。最下層には「古来の道造り伝統技法」を示す「連続するピット列を用いた路床工事址」も見つかった。

推定「古代東海道」遺構＆
中世「鎌倉街道早ノ道」遺構（多摩市）